



演説する大平前衆院議員(中央) = 2日、広島市中区

日本共産党は9月2日から9日まで「消費税10%ストップのたれ」の全国一斉行動週間として宣伝や署名に取り組みました。それに先立って党広島県委員会が8月30日、広島市中区の八丁堀交差点で「消費税10%は中止しかない!」と書いた横断幕を掲げて街頭署名。村上昭二委員長や小浜一輝書記ら6人が参加し、ハンドマイクで「参院選で5野党が消費税の10%増税の中止を共通政策に掲げました。自民党は9議席も減らし、増税反対の審判が

# 広島民報

2019年 9月15日 第2542号  
月3回刊 日曜日発行  
発行所 広島民報社  
〒730-0013 広島市中区八丁堀8-11/電話(082)228-4046  
(昭和41年2月19日第三種郵便物認可)  
1ヵ月 240円(送料123円)/1部 80円  
郵便振替 01330-2-34778  
© 広島民報社 2019年

## 仁比前参院議員が集い・街頭演説 「暮らしに希望を! 3年プロジェクト」

7月の参院選で議席確保に届かなかった仁比聡平さんが8月26、27の両日、原水爆禁止2019年世界大会に続いて、選挙後2回目の広島市入りをしました。「3年後に必ず国会へ戻ります」と決意する仁比さん。安倍改憲阻止だけでなく、憲法を生かす社会を実現する市民と野党の共同を大きく広げる「暮らしに希望を! 3年プロジェクト」に全力を尽くそうと呼びかけました。

「集い」では、青年医療労働者との懇談が同時間に重なった大平さ下されました」と約30分間訴え、11人から署名が寄せられました。9月2日には、大平よしのぶ前衆院議員・中国ブロック比例候補が八丁堀交差点で演説し、安倍政権の下での格差と貧困の拡大を指摘。「消費税を増税しなくても、優遇されている大企業などに応分の負担を求めれば、暮らしを支える財源は賄える」と提案しました。

この夏、話題となった映画を観ました。「慰安婦」問題に焦点をあてたドキュメンタリー映画『主戦場』、権力に対峙するメディアのあり方を問いかける『新聞記者』、原爆投下直後の広島を描いた『ひろしま』(1953年)につづられた作品だ

野党と市民の共闘の深化を  
参議院選挙を前後して、中国地方の各地でも共闘が深化しています。中国地方では参院選後最初の地方選挙となった島根県の益田市議選。新人の岡崎ひさしさんの出発式に元益田市議で4年前には県議選で党の候補者となつた松本正人さん



悪行に対し、これまで敵対していた勢力とも「今度はかりは...」と力をあわせ、「共闘(実)に作者自身がこの言葉を使っています。実際に作者自身がこの言葉を使っています。実際に作者自身がこの言葉を使っています。

大相撲秋場所が開催されていま。現在、郷土出身力士は8人ですが、全員が幕下以下で関取はいません。早く第二の安芸乃島が出ないかと期待しています。それより、もっと注目しているのが幕内最



「集い」で講演する仁比さん(演壇) = 8月26日、広島市東区



大平さん(右)とともに被災地を視察する仁比さん(中央) = 8月27日、広島市安佐北区



街頭演説をする仁比さん(中央) = 8月27日、広島市中区

地下水  
大相撲秋場所が開催されていま。現在、郷土出身力士は8人ですが、全員が幕下以下で関取はいません。早く第二の安芸乃島が出ないかと期待しています。それより、もっと注目しているのが幕内最